

3 章 浚渫工

3.1 浚渫工（ポンプ式浚渫船）

3.2 浚渫工（バックホウ浚渫船）

3章 浚渫工

3.1 浚渫工(ポンプ式浚渫船)

1. 適用

河川及び湖沼におけるポンプ式浚渫船による浚渫工事に適用する。

2. 数量算出項目

浚渫土量，排砂管，受枠，フロータ，水上管用ジョイント，仕切弁，曲管，分岐管の数量を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、管径，設置高さ，規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区分	BIM/CIM モデル	属性情報				
		管径	設置高さ	規格	数量	備考
浚渫土量	土構造	×	×	×	m ³	
浚渫面積	B	×	×	×	m ²	
浚渫深さ	B	×	×	×	m	
排砂管	B	○	○	○	m本	陸上部と水上部に分けて算出し、使用本数についても算出する。
受枠	B	○	○	○	m本	陸上部排砂管設置延長を算出し、使用本数についても算出する。
フロータ	B	○	×	○	組	
水上管用ジョイント	B	○	×	○	個	
仕切弁	B	○	×	○	個	
曲管	B	○	×	○	本	
分岐管	B	○	×	○	本	

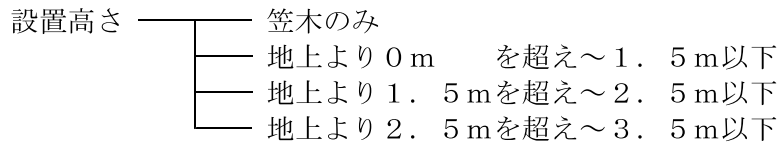
BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

※排砂管は、1本当たり6mを標準とする。

受枠間隔は、排砂管6mもの1本につき受枠を2組とし、その間隔は3mを標準とする。

(2) 設置高さ区分

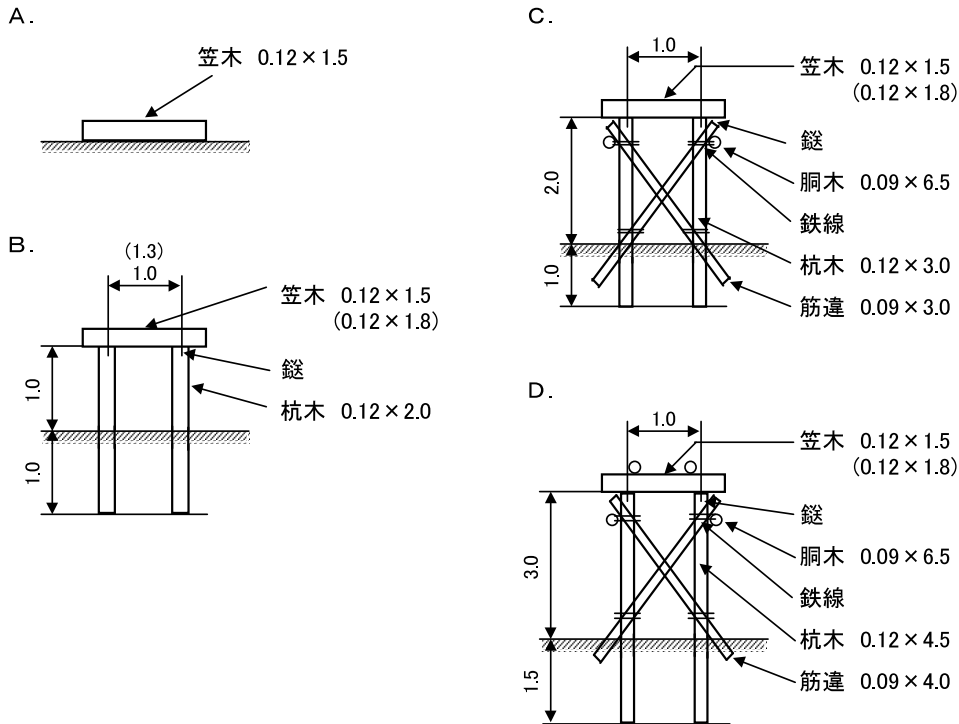
設置高さによる区分は、以下によるものとする。



(注) 設置高さとは、笠木の地上からの高さである。

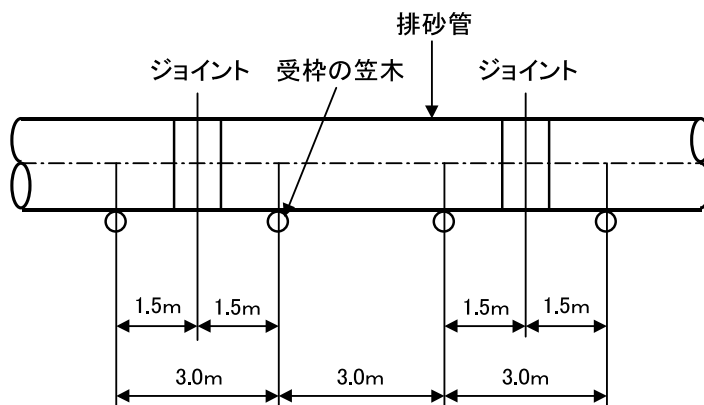
4. 参考

受枠の構造図



注) 単位は「m」とし、()は管径が350mm～560mmの場合の使用材とする。

受枠の間隔



3.2 浚渫工(バックホウ浚渫船)

1. 適用

河川におけるバックホウ浚渫船による浚渫工の施工に適用する。

2. 数量算出項目

浚渫土量の数量を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、N値とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

浚渫工 (バックホウ浚渫船)

項目 \ 区分	BIM/CIM モデル	属性情報		
		N値	数量	備考
浚渫土量	土構造	○	m ³	
浚渫面積	B	○	m ²	
浚渫深さ	B	○	m	

浚渫工 (バックホウ浚渫船) (ICT)

項目 \ 区分	BIM/CIM モデル	属性情報		
		N値	数量	備考
浚渫土量	土構造	○	m ³	
浚渫面積	B	○	m ²	
浚渫深さ	B	○	m	

BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする